

ロシア軍によるウクライナ侵攻に対する声明

2月24日、ロシア軍がウクライナへの全面侵攻を開始しました。

私たち真宗興正派は、プーチン大統領によるロシア軍のウクライナ侵攻に対して深く憂慮し、強い懸念を表明します。いかなる武力行使も、核戦力を利用したあからさまな威嚇行為も断じて容認することはできません。

武力行使の先では、多くの尊い命が奪われ、傷つけられ、住むところを追われ、いままさに日常が破壊されています。言葉では言い表せないほどの怒りと恐怖、悲しみを抱えた多くの人々に平和が取り戻されることを切に願うとともに、侵攻の即時停止と、対話と交渉による平和的な解決を強く望みます。

私たちの教団は「人類の幸せと平和に寄与するように努める」ことを為すべきとし、「柔らかな心で、お互いが認め合える幸せを伝えましょう」を実践の一つとしています。

いま世界中を覆っている「力の均衡（バランス・オブ・パワー）」による平和構築を求めるのではなく、利己的な人類の姿を反省し、互いの相違を認めながら、柔らかな心で対話と交渉を続けていく努力こそが、人類の幸せと平和に寄与する真実の行為であることを私たちは信じてやみません。

私たち真宗興正派は、人類の対話と共存を求め、平和を願うすべての人々と共にあることをここに表明します。

2022年3月8日

真宗興正派宗務総長 秦 直樹